【情報公開文書】

作成日2026年05月03日
（最終更新日20　　年　　月　　日）

受付番号： I2026-069
課題名：TowardPiBMizar OCT/OCTA を用いた近視患者の画像の年齢層横断に関する研究

１．研究の対象
2025 年 4 月から倫理審査委員会承認日までに当該研究機関を受診した近視患者
*ただし、前眼部・中間透光体の混濁等により画質不良となる方や、全身重篤疾患により検査協力が困難な方は除外いたします。

２．研究期間
2026 年　9 月　25 日（研究実施許可日）～2031 年 3 月 31 日

３．試料・情報の利用及び提供を開始する予定日
当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。
利用開始予定日：　研究実施許可日以降
提供開始予定日：　該当なし

４．研究目的
この研究の目的は、「TowardPi BMizar」という特殊なカメラ（OCT/OCTA）を用いて、お子様からご高齢の方（6～80 歳）までの幅広い近視の患者様の目の奥を撮影・分析し、その画像データと、眼軸長（目の長さ）や視力などの検査結果との関係を調べることです。
これまでの平面的な画像診断では見えにくかった「脈絡膜（目の奥の血管の層）」を立体的に詳しく見ることで、近視の進行による変化を明らかにします。これにより、近視が重症化して合併症を引き起こす前に、早期に危険を知らせる新しいサイン（画像指標）を見つけることを目指しています。これは将来の近視診療において非常に重要な意味を持ちます。

５．研究方法

この研究は、過去の診療データを振り返って調べる方法（後ろ向き横断研究）で行います。すでに当院での通常の診察において撮影された、近視の患者様の画像データを利用して分析を行います。
この研究のために、患者様に新たに追加の検査や撮影をお願いすることはありません。また、過去のデータを利用する際は、患者様のお名前などの個人情報を削り、誰のデータかわからない状態（匿名化）にしてから分析いたします。

６．研究に用いる試料・情報の種類

情報：

この研究では、以下の情報を使用いたします。

・OCTA による目の奥の立体画像データ（3 次元画像データなど）

・眼軸長（目の長さ）、屈折度数（近視の強さ）、矯正視力、眼底検査の結果などのカルテ情報

（※患者様のお名前や生年月日など、個人が特定できる情報は一切使用いたしません。）

７．外部への試料・情報の提供

該当なし

８．研究組織

本学単独研究

研究責任者：東京科学大学眼科学分野　杉澤啓吾

共同研究者：東京科学大学眼科学分野　大野京子、高橋洋如、高橋知成、西迫広貴、武者未扇、LIU JIEYANG

９．利益相反（企業等との利害関係）について

本研究は大学の運営費を用いて行われます。特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

１０．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
担当者の所属・氏名：東京科学大学病院 眼科　杉澤啓吾
連絡先： 03-5803-5302

当院の研究責任者：東京科学大学病院 眼科　杉澤啓吾

１１．苦情窓口

東京科学大学　研究推進部研究基盤推進課　生命倫理グループ
03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）